

3. 青森県

エコタウン名称	あおもリエコタウン			
承認年	平成 14 年			
エコタウンの特長	県民や産業界の協力を得ながら、地域のリサイクル資源の循環により、自然還元に資する製品を生み出すためのシステムの構築を通して豊かな自然の維持と、失われつつある自然の再生を図ることで、身の回りの自然や地球規模の環境保全及び県民生活の向上と安心・安全な生活の実現を目指す。			
URL	http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/energy/eco-town.html			
自治体の取組	財政面の支援	例) 補助金、優遇措置、等	国事業との協調により、民間団体が行う資源循環型社会形成に資する先導的なリサイクル施設整備事業に対し、「あおもリエコタウン事業施設整備費補助金(補助率 1/100)」を交付。 ※平成 17 年をもって国事業が廃止されたため、現在は財政面の支援を実施していない。	
	事業面の支援	例) 独自の認定制度、展示会、商談支援、等	県内から発生する循環資源を原材料としたリサイクル製品のうち、一定基準を満たす製品について、県が認定し、認定された製品については、県が優先的に使用・購入するほか、製品に関する情報の提供等、使用推進に必要な措置を講じている。(青森県リサイクル製品認定制度)	
	その他	例) 産官学連携、協議会等の設置、情報発信、等	今後の事業展開と企業の連携可能性を検討するため、H22～H24 に行政と参加企業等からなる「エコタウン事業展開検討委員会」、「エコタウン企業連携推進委員会」を設置。H24.3 月には「あおもリエコタウンアクションプラン」を策定し、企業の連携による新規事業の創出に向けた検討を実施。 その他、HPやハンドブックを作成し、あおもリエコタウンプランの情報発信にも努めている。	
問合せ先窓口	担当部署名	青森県エネルギー総合対策局エネルギー開発振興課		
	担当G	環境・エネルギー産業振興グループ		
	連絡先	電話番号	017-734-9378	
		FAX	017-734-8213	
E メールアドレス		enerugi@pref.aomori.lg.jp		

3.1 大平洋金属株式会社

3.1.1 事業者情報

名 称	大平洋金属株式会社			
本社住所	〒031-8617	青森県八戸市大字河原木字遠山新田 5-2		
資本金、出資金	13,900,000 千円			
従業員数	468 人			
設立年月日	昭和 24 年 12 月 1 日			
URL	http://www.pacific-metals.co.jp/index.php			
事業概要	産業廃棄物及び八戸市一般廃棄物処理施設から生じた焼却灰、県内で処理が課題となっているホタテ貝殻を調整材として配合し、直流電気抵抗式還元炉を用いて混合溶融することで、溶融スラグ(人工砂)、溶融メタルを製造する。			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	大平洋金属 製造本部 環境事業部 焼却灰溶融課		
	担当者名	杉山 晋		
	連絡先	電話番号	0178-47-7251	
		FAX	0178-47-7255	
Eメールアドレス		n-sugiyama@pacific-metals.co.jp		

3.1.2 技術情報

キーワード	直流電気抵抗式還元炉			
技術名称	直流電気抵抗式還元炉による廃棄物の溶融・還元			
技術の分類	その他(電気炉での溶融・還元)			
目的・用途	溶融メタル: ウェイト原料及び金属資源 溶融スラグ: コンクリート用細骨材等の土木資材			
特長	重金属類を含む廃棄物を約 1600℃で溶融・還元してメタルとスラグに分離することで、メタルは金属資源化し、無害化されたスラグは土木資材等の資源として再利用出来る。			
設備、製品等の写真、イメージ	<p style="text-align: center;"> 溶融スラグ配合コンクリート二次製品 溶融メタル 溶融スラグ細骨材 </p>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	燃え殻、ばいじん類	受入条件、形状	粒度: 0-30mm、水分: 10-30%、塩素: 4%以下、フッ素: 1%以下、ホウ素: 1%以下
	産廃	汚泥、動物性残渣、金属屑、ガラス屑、コンクリート屑、陶磁器屑、鋳さい	受入条件、形状	粒度: 0-30mm、水分: 10-30%、塩素: 4%以下、フッ素: 1%以下、ホウ素: 1%以下
供給資源・製品	溶融メタル		形状	粗破碎(0-20mm)
	溶融スラグ細骨材		形状	0-5mm

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源(ウエイト原料及び金属回収、コンクリート用骨材)としてリサイクルが可能であり、排出者はCSR(社会的責任)を向上させることができます。重金属を含む廃棄物も受け入れが可能です。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	溶融スラグは重金属を含まず、天然砕石由来の骨材と同等の品質があります。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	例年約80名の施設見学を実施。見学希望は随時受け付けます。

3.1.3 実績情報

	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	燃え殻・ばいじん	4,448	3,018	t
	汚泥	210	100	t
	ガラス・陶磁器屑	236	42	t
	動物性残渣	501	395	t
受入可能量	燃え殻・ばいじん	-	16,622	t
	汚泥	-	3,039	t
	ガラス・陶磁器屑	-	2,683	t
	動物性残渣	-	1,995	t
	金属屑	-	404	t
	鉱さい	-	2,683	t
販売実績量の推移	溶融メタル	0	516	t
	溶融スラグ	6,296	4,861	t
主な調達先	一般廃棄物処理施設、各業種製品製造ラインで発生する産業廃棄物			
主な供給先	溶融メタル: ウエイト製造メーカー、金属回収企業 溶融スラグ: 土木用コンクリート製造メーカー(当社溶融スラグを配合したコンクリート二次製品が、青森県リサイクル認定を取得しており、公共工事で優先的に使用頂いております)			
技術開発の実績 (過去5年間)	約5千万円でブリケットマシンを導入。工程で発生した粉体を造粒して電気炉にリターンすることで、電気炉内原料のガス抜きが良くなり、操業の安定化となった(2011年)			

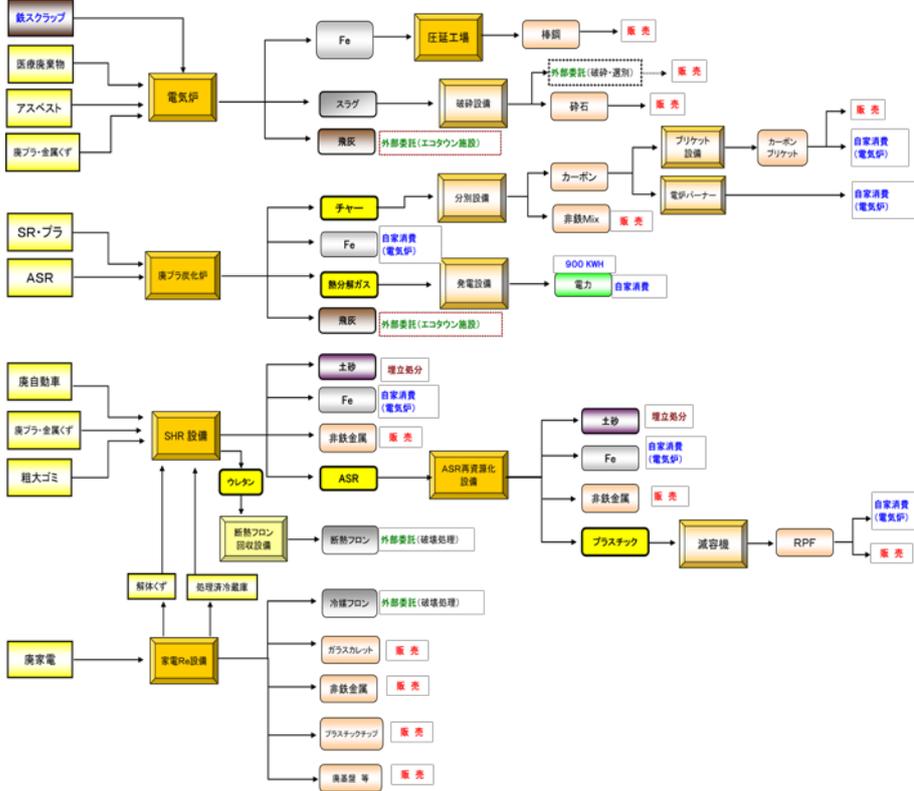
設備投資の実績 (過去 5 年間)	約 5 千万円でブリケットマシンを導入。工程で発生した粉体を造粒して電気炉にリターンすることで、電気炉内原料のガス抜きが良くなり、操業の安定化となった(2011 年)
海外展開の実績 (過去 5 年間)	溶融メタルについて、海外への輸出実績あり。
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	過去 5 年間の活用実績無し。

3.2 東北東京鐵鋼株式会社（東京鐵鋼株式会社八戸工場）

3.2.1 事業者情報

名 称	東北東京鐵鋼株式会社(東京鐵鋼株式会社八戸工場)			
本社住所	〒039-1161	青森県八戸市河原木海岸 4-11		
資本金、出資金	275,001 千円			
従業員数	人			
設立年月日	平成 13 年			
URL	http://www.tokyotekko-recycle.jp			
事業概要	<p>東京鐵鋼八戸工場 1. 棒鋼の製造販売事業 <input type="checkbox"/>鉄筋コンクリート用棒鋼 <input type="checkbox"/>一般構造用棒鋼 <input type="checkbox"/>ネジフシ棒鋼 <input type="checkbox"/>ネジテツコン・ネジ継手</p> <p>2. 環境リサイクル事業 <input type="checkbox"/>特別管理産業廃棄物中間処理業（焼却・溶融） <input type="checkbox"/>産業廃棄物中間処理業（焼却・溶融）</p> <p>東北東京鐵鋼(株) <input type="checkbox"/>産業廃棄物中間処理業（破碎選別・焼却）<input type="checkbox"/>特定家庭用機器(家電)のリサイクル事業 <input type="checkbox"/>使用済み自動車のリサイクル事業</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	資源営業部		
	担当者名	東 一洋		
	連絡先	電話番号	0178-28-6561	
		FAX	0178-28-6565	
Eメールアドレス		kazuhiko_higashi@tokyotekko.co.jp		

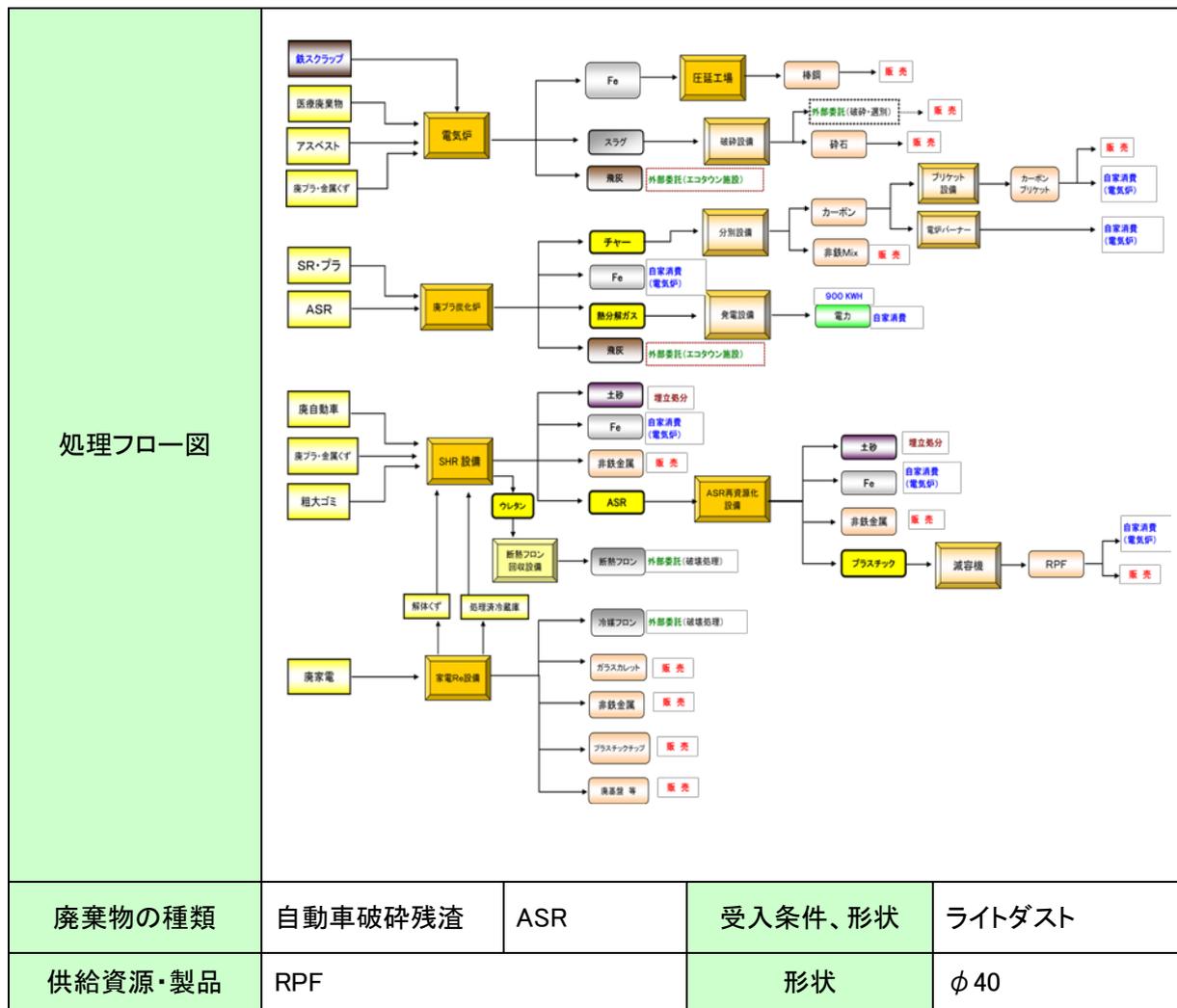
3.2.2 技術情報(1)

<p>キーワード</p>	<p>処理困難物</p>
<p>技術名称</p>	<p>製鋼電気炉による超高温処理</p>
<p>技術の分類</p>	<p>その他(溶融)</p>
<p>目的・用途</p>	<p>残渣の極小化と無害化処理</p>
<p>特長</p>	<p>安心・安全なリサイクル</p>
<p>設備、製品等の写真、イメージ</p>	
<p>処理フロー図</p>	

廃棄物の種類	特管産廃	廃石綿等	受入条件、形状	2重プラスチック袋をフレコン梱包・ドラム缶
	特管産廃	感染性医療廃棄物	受入条件、形状	専用容器
	産廃	汚泥(電池)	受入条件、形状	鉄製缶容器
	産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	フレコン梱包
供給資源・製品	砕石		形状	0-40
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	完全無害化が可能で安全にリサイクルできます。	

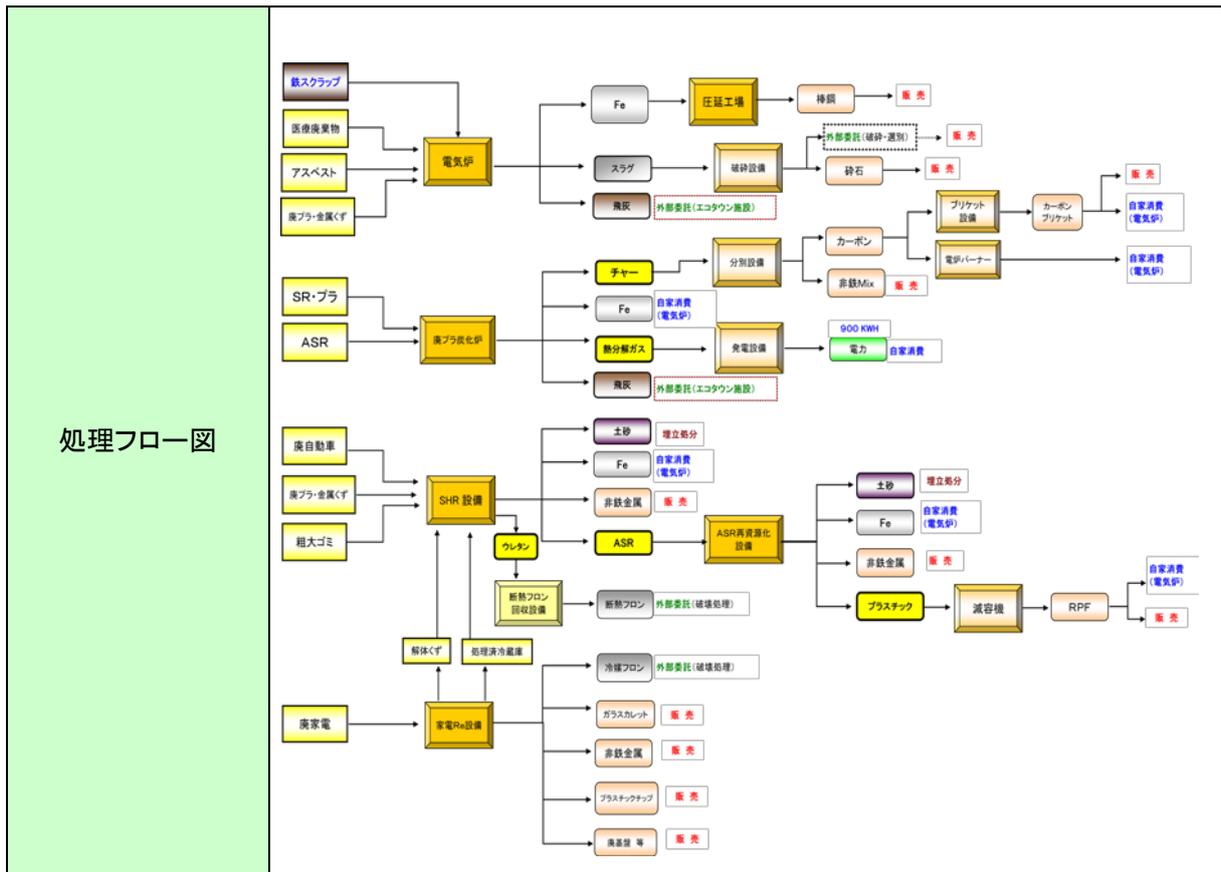
3.2.3 技術情報(2)

キーワード	ASRの再資源化処理		
技術名称	高度破碎選別		
技術の分類	破碎・選別・固形燃料化		
目的・用途	ASR(軽量物)の破碎選別		
特長	破碎選別で鉄や非鉄類の有用金属が回収された後、有機物は固形化され電気炉で燃料や還元材として活用されます。		
設備等の写真			



3.2.4 技術情報(3)

キーワード	ASR・廃プラ
技術名称	廃プラ炭化技術
技術の分類	その他(熱分解ガス化)・廃棄物発電
目的・用途	ASR・廃プラ等の熱分解ガス化
特長	ASR や廃プラスチック等はこの施設で熱分解されて粉体カーボンとして加工され、鉄をつくる際の原料や燃料になります。発生した熱分化ガスは発電設備に使われます。
設備、製品等の写真、イメージ	



廃棄物の種類	自動車破碎残渣	ASR	受入条件、形状	
	産廃	廃プラスチック	受入条件、形状	破碎プラスチック
	粉体カーボン		形状	微粉
供給資源・製品	廃棄物等排出者側のメリット		<ul style="list-style-type: none"> ・焼却埋立処分されず新たな資源(粉体カーボン)としてリサイクルされます。 ・塩素を含まない廃プラであれば、どんな種類の廃プラでも受け入れ可能です。 	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	完全無害化が可能で安全にリサイクルできます。	

3.2.6 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	感染性廃棄物	非公開	非公開	t
	廃プラスチック類	非公開	非公開	t
	金属くず	非公開	非公開	t
受入可能量	感染性廃棄物	-	非公開	t
	廃プラスチック類	-	非公開	t
	金属くず	-		
販売実績量の推移	砕石	-	非公開	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			

3.3 八戸製錬株式会社八戸製錬所

3.3.1 事業者情報

名 称	八戸製錬株式会社八戸製錬所			
本社住所	〒039-1161	青森県八戸市大字河原木字浜名谷地 76		
資本金、出資金	4,795,000 千円			
従業員数	260 人			
設立年月日	昭和 42 年			
URL	http://			
事業概要	<p>亜鉛、鉛の製錬、硫酸、石膏の製造、産業廃棄物の処分 『廃棄物の種類』 燃え殻・ばいじん(煙灰、溶融飛灰など)、汚泥(重金属スラッジ、塗料屑など)、 廃酸(廃硫酸など)、鉛電池、廃アルカリ(苛性ソーダ、消石灰など)、金属屑(亜鉛屑、鉛屑、管屑等)、乾電池(アルカリ、マンガン乾電池)、無機性汚泥、鉄残渣、 CaCO₃汚泥、ガラス屑(鉛含有ガラス屑、液晶ガラス屑等)、カーボン屑、 集じんダスト、廃バッテリーなど</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	環境安全課		
	担当者名	新澤 史幸		
	連絡先	電話番号	0178-28-2103	
		FAX	0178-28-6030	
E メールアドレス		fumiya_shinzawa@hachi.mitsui-kinzoku.co.jp		

3.3.2 技術情報

キーワード	溶融飛灰処理			
技術名称	脱塩・脱水・乾燥			
技術の分類	有害廃棄物処理			
目的・用途	セメント原料化			
特長	2次廃棄物が発生しない			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	受入溶融飛灰 → 脱塩(工程水と混合し塩素分を溶解) → 脱水(残渣とろ液を分離) → 乾燥(残渣水分を調整) → 製錬工程へ供用 → セメント原料として製品化			
廃棄物の種類	一廃・産廃	ばいじん類	受入条件、形状	事前にサンプル評価の上受入可否判定。
	一廃・産廃	汚泥	受入条件、形状	事前にサンプル評価の上受入可否判定。
供給資源・製品	スラグ		形状	砂状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	埋立せず、全量リサイクル処理が可能。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	関係排出元等の工場見学を積極的に受け入れ、処理について理解を深めて頂いている。	

3.3.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	ばいじん、汚泥	非公開	非公開	t
受入可能量	ばいじん、汚泥	非公開	非公開	t
販売実績量の推移	スラグ(煤塵、汚泥見合分)	非公開	非公開	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
その他実績	非公開			